REPAIR CARE

ドライフレックス®使用事例
木部補修用

速くてきれい、抜群の作業性

玄関・ドア枠の補修

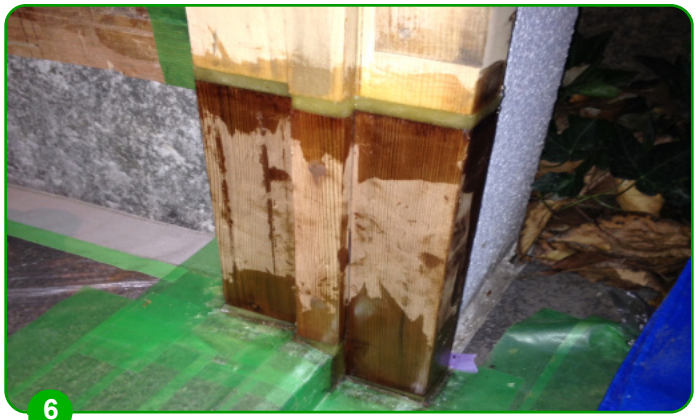
1 戸建、玄関の木製ドア枠の腐朽

2 ドアを取り外し、傷みの激しい部分を切除する

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 交換部材を準備し、接合部分に同様のプライマー処理を施す

5 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする（交換部材も同様に）



6 必要量のドライフレックス®を充填し、交換部材を接合する

7 硬化後は、表面をサンディングしてから塗装する

埋め木・交換部材：接合の仕方

- 接合面にプライマー処理を施す（写真③④）
- ドライフレックス®は薄く押し付けしてから充填（写真⑤）
- 樹脂に最低5mmの厚みを残して接合する（写真⑥）
- 地際も同様の処置をして、湿気の侵入を予防する

速くてきれい、抜群の作業性

押出し窓の補修

1 木製窓：縦框、横框と枠の腐朽

2 傷みの激しい部分を切除する

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けしてから充填成形

5 埋め木を使ったドライフレックス®の充填成形が完了

6 埋め木の木口はドライシールド™SKで処理。木口からの湿気の侵入を予防する

7 硬化後は、表面をサンディングしてから塗装する

埋め木に必要な樹脂の厚み

- 埋め木とドライフレックス®を接合する際、埋め木の周りに最低5mmの厚みを残して接合すること（写真⑥）
- 樹脂の適切な熱反応と、追従性維持のため

速くてきれい、抜群の作業性

引戸枠・樹脂と交換部材で補修（1）

1 木製引戸の固定側、下枠の腐朽

2 腐朽範囲が広いので、下枠を全部撤去。縦枠も、傷みの激しい部分を切除する

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けしてから充填成形

5 必要量のドライフレックス®を充填し、交換部材を接合する

6 硬化後、表面をサンディングする

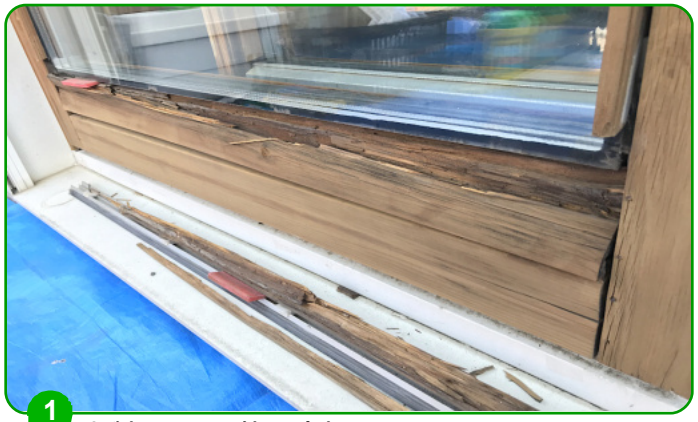
7 塗装して仕上げる

ほぞ穴の処理等

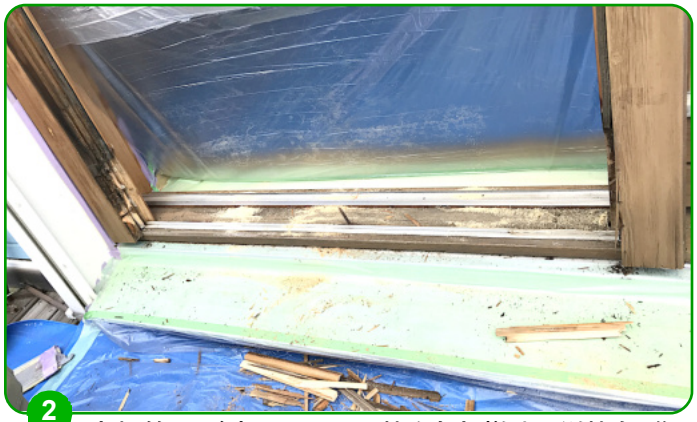
- 下枠全部取り換えの際、ドライフレックス®との接合にほぞは使用しません
- 既存のほぞ穴は樹脂で埋め戻し（写真④）
- 交換部材は縦枠との間にドライフレックス®の厚みが最低5mm残るように作成すること（写真⑥）

速くてきれい、抜群の作業性

引戸枠・樹脂と交換部材で補修（2）



1 木製引戸、下枠の腐朽



2 腐朽範囲が広いので、下枠を全部撤去。縦枠も、傷みの激しい部分を切除する

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

5 必要量のドライフレックス®を充填し、交換部材を接合する

6 交換部材とドライフレックス®の接合が完成

7 硬化後、サンディングをしてから塗装仕上げ。水切りを戻し、パッキン等はドライシール™MPで処理をする

水切り・ゴムパッキン等の処理

- ガラスと水切りの間のゴム及び水切りと縦枠の隙間は、ドライシール™MPで処理をする（写真⑦）
- ゴムや水切りの隙間から湿気や雨水が侵入し、補修した下枠が再腐朽するリスクを防ぐため

速くてきれい、抜群の作業性

引戸枠・樹脂のみで補修

1 木製引戸、枠部分の腐朽

2 補修箇所の塗装を除去し、傷みの激しい部分を切除する

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

5 必要量のドライフレックス®を充填し、成形する

6 充填成形完了

7 硬化後、サンディングをして塗装仕上げ。水切りを戻し、パッキン等はドライシール™MPで処理をする

専用成形定規の使い方

- 3面以上の立体成形や、デザインを維持したい場合は専用の成形定規をご使用ください（写真⑤）
- 成形定規はエポキシ樹脂に接着しないポリプロピレン製、完全硬化してから取り外してください

速くてきれい、抜群の作業性

浴室・ドア枠の補修

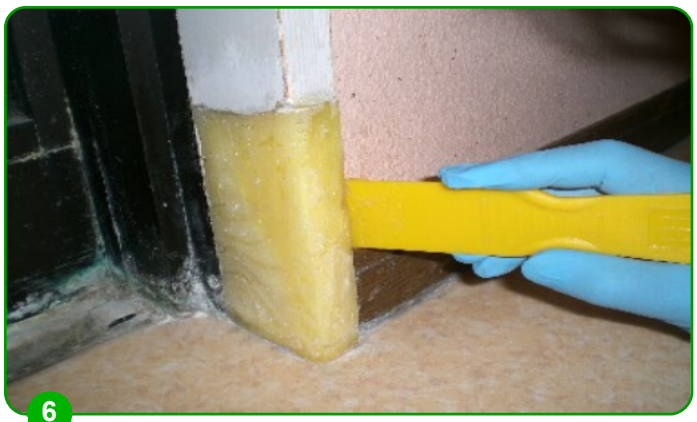
1 施設内、共同浴室の木製ドア枠の腐朽

2 補修箇所の塗装を除去し、傷みの激しい部分を切除する

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布

4 プライマーを20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

5 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする



6 必要量のドライフレックス®を充填し、成形する

7 充填成形完了。硬化後、サンディングをしてから塗装仕上げ

ドライフレックス®・充填の仕方

- プライマーの処理後、まずドライフレックス®を薄く押し付けすること（写真⑤）
- 素地に十分な樹脂のコンタクトを作ることで界面剥離のリスクを防ぐため

速くてきれい、抜群の作業性

ドライフレックス®使用手順・基本の7工程（木部・モルタル共通）

1 含水率が18%以下であることを確認する。補修箇所の塗料や汚れを除去

2 傷みの激しい部分を切除。クラック補修の場合：最低5mm x 10mmの″はつり″ を入れる（モルタル等：10mmx10mm）

3 ドライフィックス®（プライマー）を塗布。20分浸透させ、その後、余剰分はウエス等でふき取る

4 プライマーとの間にエアを残さないように、ドライフレックス®を薄く押し付けする

5 必要量のドライフレックス®で充填成形

6 硬化後、必ずサンディングをして、表面のアミン成分を除去すること（アミンの染み出しや塗料剥離を予防するため）

7 塗装仕上げ。塗装密着幅：1週間～10日

注）鉄部等吸込みがない素地補修の場合：上記プライマーの工程が不要です。

ご使用になる前に製品の仕様書及び取扱説明書をよくお読みください。これらの製品は使用方法、使用条件により本来の性能を発揮できない場合があります。製品が使用の目的・用途・条件に適合するか否か、必ず事前にご確認の上ご使用ください。

株式会社リペア・ソリューション
〒231-0011
横浜市中区太田町1-20三和ビル2-C
TEL:045-228-0833 FAX:045-228-0836
e-mail:info@repair-solutions.co.jp
https://repair-solutions.co.jp/

← 商品情報のサイトはこちら

Copyright © 2021 Repair Solution K.K. All rights reserved